



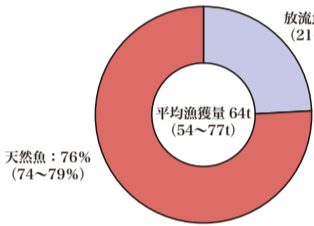
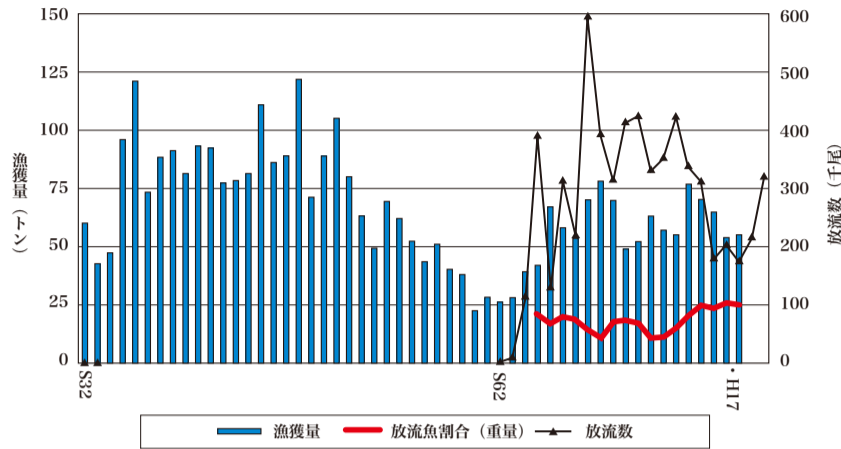
No.87

# さいばい ニュース

(財) 神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237 神奈川県三浦市三崎町 城ヶ島養老子  
☎ 046(882)6980  
FAX 046(881)2233

## ヒラメ漁獲量・放流魚割合・種苗放流数の変化



過去5年間の平均漁獲量

(出典：神奈川県水産課、神奈川県水産技術センター)



放流されるヒラメ種苗

## ヒラメ資源管理と種苗放流効果



### 漁獲されるヒラメの4分の1は放流魚

神奈川県は相模湾では主に刺網、定置網によって、東京湾では底曳網によってヒラメを漁獲しています。

神奈川県は、昭和三十四年から昭和五十二年まで、七十トンから百二十トンの水準でした。しかし、昭和五十三年から減少が始まり、遂に、昭和六十二年には二十トンの水準にまで落ちました。漁獲の低水準期は平成四年まで続いていました。

このように、ヒラメの漁獲量が減少していく中、資源を回復するため、神奈川県は昭和六十二年から当時の県栽培漁業センターと水産総合研究所が

放流技術開発事業として種苗の生産・放流の試験を始めました。

あわせて、平成七年度から広域資源管理型漁業促進対策事業に着手し、平成十年三月に「神奈川県広域資源管理推進指針」をまとめました。

その内容にヒラメ資源管理の基本方針があり、小型魚の保護、漁獲物の有効化、資源管理の推進の三本柱を立てました。

特に、小型魚の管理項目としてヒラメ網で漁獲した全長三十五センチメートル以下のサイズの小型魚を再放流することと小型魚を採捕しにくくするため、ヒラメ網の目合を十五センチメートル以上とすることが、漁業者

と話し合いによって決まりました。

最初に種苗生産の試験によって生産された種苗は、水産技術センターが放流していましたが、それと併せて当協会、漁業協同組合や水産関係財団法人が他県で生産された種苗を購入して放流するようになりました。さらに、平成十六年度からは、放流効果実証事業を栽培漁業協会が行い始め、十萬尾を東京湾と相模湾に放流してきました。

## 神奈川県栽培漁業基本計画改訂

ら二

と、ここで神奈川県は、現在、ヒラメも含めた「神奈川県栽培漁業基本計画の改訂」作業を進めています。

平成十七年度に策定した第五期計画が、今年度末で計画期間が満了するため、平成二十二年度か

の話し合いによって決まりました。

最初に種苗生産の試験によって生産された種苗は、水産技術センターが放流していましたが、それと併せて当協会、漁業協同組合や水産関係財団法人が他県で生産された種苗を購入して放流するようになりました。さらに、平成十六年度からは、放流効果実証事業を栽培漁業協会が行い始め、十萬尾を東京湾と相模湾に放流してきました。

放流効果実証事業は、国、県から補助金が助成され、放流の効果を実証するため、無償で放流をしてきました。

平成十六年度から平成二十一年度まで、漁業協同組合と水産関係財団が放流したヒラメ種苗は、平均六万五千尾前後であり、放流効果実証事業分の十萬尾と合わせると近年では、神奈川県沿岸に十六萬尾前後のヒラメ種苗が放流されていることになりました。

その結果、資源の管理と放流の効果が表れ、平成十五年から平成十九年

の平均漁獲量は六十四トンになり、安定した漁獲量になっています。

漁獲物の中には含まれる放流魚の割合は、平均二十四%です。

このように神奈川県で漁獲されているヒラメの四分の一が種苗放流で支えられています。

神奈川県は、ヒラメとマガイの放流効果実証事業で、平成十六年度から栽培漁業協会へ補助してきましたが、平成二十二年度をもって県の事業を中止し、栽培漁業協会が行う事業の自立化を求めています。

栽培漁業協会としては、引き続き放流効果実証事業で放流してきた十萬尾分を継続するならば、その放流経費をどのように分担するか、漁業者等の方々に意見をお聞きし、平成二十二年度中に結論を出す予定です。

そして、その経費負担の案を平成二十二年度の秋に開催する予定の理事会・評議員会におはかりしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

## 潮騒

「目の前の海で獲れる魚を食べることが最高のエコ。はるか遠い国から膨大な燃料を使い運ばれてくる魚より、我が国沿岸で漁獲される魚介類をできるだけ多く食べようではないか」という動きが始まりました。

▼宮城県の気仙沼市で今年一月の「給食の日」に、「100%地産地消学校給食」という取り組みが行われました。「ふかひれ丼」「サメ肉の唐揚げ」や「ヨーグルト」などが、市内の小学校二十一、中学校七校の児童生徒・職員約五千三百人に提供されました。

大豆だけは市内で生産されていないため、県内産の大豆を使い、気仙沼市のメーカーが作った醤油以外、米、蜂蜜(砂糖の代わり)も含め、魚介類も地元の漁船が気仙沼魚市場に水揚げしたものを使用するなど、全て市内で生産されたものでした。

調味料なども全て地元産にこだわったため、食材を納入した水産加工業者は、「非常に苦労した」と話していました。しかし、この運動を進めている関係者は、この地産地消運動が県内、全国水産都市に拡がり、さらに、「国産国消」運動が起ることを期待しています。

## 水産資源の増大を願い、(財) 神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

<p>環境保全と水産業の振興を 財団法人 <b>相模湾水産振興事業団</b></p> <p>理事長 武井 正</p> <p>〒250-0021 小田原市早川一〇〇一 TEL 〇四六五-二二五九八九 FAX 〇四六五-三三三五一四</p>	<p><b>相模湾遊魚問題 対話推進協議会</b></p> <p>会長 小菅 福久</p> <p>〒250-0021 小田原市早川一〇〇一 TEL 〇四六五-二二五九八九 FAX 〇四六五-三三三五一四</p>	<p><b>神奈川県漁業資材株式会社</b></p> <p>代表取締役 廣 沢 富 正</p> <p>〒250-0021 小田原市早川一九六 TEL 〇四六五-二二二五三五 FAX 〇四六五-二二二五三五</p>	<p><b>ヤクルト薬品工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 千 野 龍 二</p> <p>〒186-8650 TEL 〇四二五-七七八九六七 FAX 〇四二五-七三二一六八二</p>	<p>全国においしさを運びます <b>タムラ運輸サービス株式会社</b></p> <p>代表取締役 石 川 義 夫</p> <p>本社 〒239-0831 横須賀市久里浜一〇〇〇一 TEL 〇四六八-三三二二〇〇 FAX 〇四六八-三三二二〇〇 長井営業所 〒238-0316 横須賀市長井五二二四七 TEL 〇四六八-五七四六六四 FAX 〇四六八-五七四六六九</p>
--	---	--	---	--

# 百六十人が出席し 新春漁業者交流大会開く

## 漁業士認定書授与式、活動発表など行う

新春神奈川県漁業者交流大会は、一月八日、横浜市のかながわ県民センターで開催されました。百六十人を超す漁業関係者らが出席、漁業士認定書授与式に引き続き、



盛会だった交流大会



認定証書が授与される新漁業士

「活動発表は県の漁業振興に貢献してきました。今年も二つの発表があります。なお県の来年度予算は非常に厳しいですが、出さずとも来年の計画をいざというときと主催者あいつを行っていました。最初に二十一年度の漁業士認定書授与式が行われ、横浜市漁協金沢支所の野口時彦、小田原市漁協の松本一樹氏が青年漁業士、平塚市漁協の磯崎清一、同漁協の高山光明、同漁協の府川佳男、大磯町漁協の渡部誠、小田原市漁協の江森正典氏が指導漁業士として認定されました。江森氏は、「漁業者として社会に貢献すること、我々

漁業士の存在を示すことを約束します」と決意を述べました。三浦市・上宮田漁協の佐藤勉氏は「地魚をおいしく安く有効利用し、未利用『魅了』の海洋資源を使つて」と題し、小田原市漁協青年部の松本一樹氏は「間伐材で海と山の再生を」と題し、間伐材を使った魚礁設置試験」と題し話題提供しました。休憩時間に展示されている活動ポスターを見学した後、神奈川県立海洋科学高校の一、二年生四名が、「漁業体験講座を通じて学んだこと」について話し、県水産課漁業調整・資源管理班の山田敦主査は「神奈川県栽培漁業基本計画の改訂について」と題し話題を提供しました。

# 百五十人が出席し賑やかに賀詞交歓会

## 木村・みうら漁協組合長に漁協運動功労者賞

平成二十二年神奈川県水産関係団体賀詞交歓会は、一月十八日正午から、横浜市中区山下町のワー



新年を迎え決意新たに



表彰状が高橋会長から木村組合長に

クピア横浜で開催されました。百五十人の漁業関係者が新春を祝いました。主催者を代表し神奈川県漁連の高橋征人会長は、「漁業界は経営体や生産の減少で厳しい状況にあり、漁協の経営基盤強化

が急務です。これまで強化に向けた検討を続けてきましたが、今年には経営ビジョンを打ち出していくことにします」とあいさつしました。神奈川県小野義博副知事は、「県の財政は厳しい状況にありますが、五月に全国植樹祭が県下で初めて開催されることもあり、二十二年は神奈川県力開花の年にしよう」と題し、神奈川県水産救済会の牧島功会長は「神奈川県には世界の船舶が航行する東京湾があります。事故のない安全な海にしよう。そして安全・安心の魚を消費者に届けよう」と来賓あいさつを行いました。引き続き、漁協運動功労者として表彰されたみうら漁協の木村和一組合長に、高橋会長が表彰状を手渡しし、記念品を贈りました。この後、県信漁連の福谷潤会長が乾杯の音頭をとり祝宴に入りました。出席者は、各テーブルで交流し、新年への期待や抱負などを話し合いながら、和やかな時間を過ごしました。最後に、県内水面漁連の栗原梅吉会長の発声で手締めを行い閉会しました。

# まぐる千夜一夜

## 続 鱸のオンチャン航海記

### 第15話 国棄て ③

(前号のあらすじ：船にきた男の子に、ラジオの修理を頼まれ、直しに行つてやるといふ通信士と一緒に、その男の子の家に向かいました。)

男の子は、その家を指さしながら「マイハウス」と教えると、家の方へ小走りに駆けて行きます。その後を追って、家に辿り着きますと、鮮やかなピンクのサリーのような衣服を身にまつた中年の女が、にこやかな笑みを浮かべて出迎えてくれたのです。

儂の眼には、インド人かセイロン人に見えませんが、色が黒いが、なかなかの美人。察するに、男の子の母親というところ

儂らが通されたのは、二十畳敷きもありそうな広い居間でした。ただ、部屋の広い割には造作は質素、というか粗末というか、高い天井板は薄緑、壁は白、床は茶色のベンキを塗っているだけ。漆喰も絨毯も無し。勿論、シャンデリアも

内地でいうなら、安アパートの安普請。そんな感じですね。しかし、清潔な感じが気持ちいい。部屋の中には、白いベンキ塗りの大きな丸テーブルと数脚の椅子以外には、家具らしい家具も置いていない。

ただ、入口から右側の壁際に、二間以上もあるようなマホガニー材の見事な背の低い飾り棚があつて、何か場違いな感じがしましたが、その棚の上に、一抱えもありそうなドーム型の旧式のラジオが置かれていました。

### 真空管式のラジオ

問題のラジオをいうのはこれらしい。この当時、内地では殆どがトランジスタラジオに代わつていて、真空管式のこんな大きなものは、骨董品屋にでも行かんことには手に入らない。

よく見ると、カバーは桤材で見事な彫刻が施されており、ラジオというより装

飾品といった感じなんです。通信士(オベ)さんは、暫く仔細に眺めていましたが「こりゃ、お前え、神武天皇もこりゃ古い、とおっしゃって魂消るほど時代がかった代物だぜ」と独りごちしながら、楽しそうに仕事に掛かりました。

儂はすることがなく、ただ所在なげに椅子に座つて、天井を眺めたり壁を眺めたりするしか能がありません。その立派な飾り棚の中に何が入つて

いるか、と覗いて見ると、いかにも値打物の壺や絵皿、黒檀で出来た仏様のような物、それに、色も鮮やかなガラス製のコップ、皿、小鳥や花の細工物などが、所狭しと飾られていて、質素なこの家の造りとは、何やらチグハグな感じがしたものです。

小一時間ほどで修理が終わわり、オベさんはダイヤルをあちこち廻して、テストを繰り返しましたが「よう、どうやら終わったぜ。中はスゲエ埃だらけ。何年も掃除なんてしたこたあねえんだべよ」と、直ぐ傍らで固唾を飲んで見守つ

ていた男の子に言いますと、彼は房州弁が理解出来なかつたとみえて、体中で嬉しさを表しながら、何か大声で叫び、飛び跳ねるように奥に入つて行きました。

間もなく母親らしい女と一緒に出て来ました。母親も、それは嬉しそうなので、手伝い一つしていませんが、嬉しゅうなつてしまいましたがな。

### ジンに酔い潰れる

直つたラジオからは、睡くなるような印度音楽が流れ始めています。母親が大きなコップと白い液体の入つた壺、それに木の器に山盛りの果物を、テーブルに置くと、「ドウゾ、ドウゾ」

たどたどしい日本語で勧めるのです。果物はレモンのもようでもあり、夏みかんのもようでもあります。が香りはレモンそのもの。

母親は、二つの大きなコップに、壺の中身を半分ほど注ぎ、果物の尖つた部分を切つて、ギョツと絞る。(つづく)

水産資源の増大を願ひ、(財)神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

神奈川県漁業協同組合連合会  
代表理事 高橋 征人  
〒236-0051  
横浜市金沢区富岡東二丁目二二  
TEL 045-773-1677

漁船漁業を守ります。  
神奈川県漁船保険組合  
組合長理事 忍 足 庄一  
〒236-0051  
横浜市金沢区富岡東二丁目二二  
TEL 045-773-1677

全国合同漁業共済組合  
神奈川県事務所  
所長 鈴木 清  
〒236-0051  
横浜市金沢区富岡東二丁目二二  
TEL 045-773-1677

社団法人  
神奈川県漁業無線協会  
会長理事 栗山 義男  
〒238-0232  
三浦市晴海町一丁目  
TEL 046-882-2784

神奈川県漁業士会  
会長 鈴木 喜一  
(事務局) 〒238-0237  
三浦市三崎町城ヶ島養老子  
TEL 046-882-2489  
FAX 046-882-7903

神奈川県しらす船曳網漁業  
連絡協議会  
会長 堀江 一  
〒240-0103  
横須賀市佐島三丁目一  
TEL 046-882-2489  
FAX 046-882-7903

### 木村和一 みうら漁協組合長 漁協運動功労者として表彰される



木村組合長

もので、今年は全国で三十八人が受賞しています。

みうら漁協の木村和一組合長が、漁協系統運動の推進・発展に大きく貢献したとして、二〇〇九年度漁協運動功労者として全国漁業協同組合連合会から表彰されました。毎年、JFグループの模範となる人を表彰している

木村組合長は、県漁連・県信漁連副会長、共水連神奈川県事務所長などの要職に就いています。

### アワビは放流しないと獲れません

神奈川県水産技術センターは、昨年の県下の漁模様に今年予想を発表しました。その中でアワビの漁獲量は、この十年



放流用アワビ稚貝

### リビエラリゾートから 水産資源を増やしてと寄付



渡邊副社長が今井専務に寄付目録贈呈

金を協会に寄付してくれました。

リビエラリゾートは、昨年十一月、三浦市三崎町小網代のシーボニアで「ハギマスタ12009」を開催しました。そして、海を豊にしよう、と参加者に募った栽培募

藤郎副社長から「海をきれいにし、水産資源を増やして下さい」と寄付目録を贈られた協会の今井利為専務は、「協会は合計100万尾のマダイ稚苗や一万尾のカワハギ稚苗を放流するなどしています。本日はいただいた寄付金は稚苗生産、放流に使います」とお礼の言葉を述べました。

獲れない(放流しただけ獲れる)という状況が続いている。そうである。そして同センターの調査でここ数年、アワビの天然稚貝の大量発生は確認されていないので、今年の漁獲も放流員中心で、平年並みの漁獲、と予想しています。

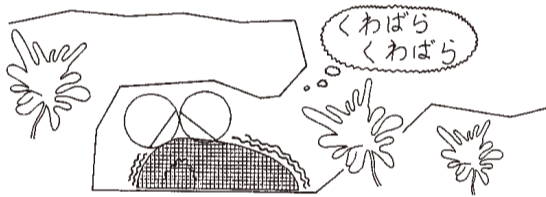
ヒラメは、二十一年八月までの主要六市場の水揚げ量合計は、五十七トンで、二十年同期の三十一・八トンを大きく上回りました。「ヒラメ種苗の放流効果が着実に現れており、二十二年も好調な水揚げになるのでは」と予想しています。

### さいばい漁業って何 ⑥

ある時、アワビは泳ぐ？

漁師からアワビが泳ぐ

次に大型のヒトデ、カニ、そして、イシダイなどの魚類です。アワビを食べるヒトデには、イトマキヒトデ、キヒトデ、アカヒトデなどの種類がいます。ヒトデはアワビの稚貝に覆いかぶさり食料と言う胃を反転させて包み込んで溶かしてしまいます。イシガニやシヨウジンガニは、鉋を使って、アワビの殻を割り、軟体部を食べてしまいます。



アワビ資源管理の手引きより(以下挿絵は同じ)

このようにアワビの放流効果を少なくする天敵から取り除く必要があります。

アワビはどのくらい移動するか アワビは「なしろ」と言って、条件が良いと、すみ場である岩場の棚、窪地、割れ目などからほとんど動かず、寄ってくる海藻の破片を食べ成長します。

移動が少ないことは、その場所でのアワビが棲むことができる岩場の棚、転石などの空間と餌となる海藻が流れてくる量などが重要である。アワビの漁場でも一箇所に数個から十個ぐらいたまっていることもあり、しかし、この場所には何十個、百個と高い密度を放流することは、すみ場と餌の確保から言って無理があります。このことから、余り高い密度で一箇所に放流せず、なるべくアワビが隠れる場所に十個単位で分散して放流することをお勧めします。

水産資源の増大を願い、(財)神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

クロレラ工業株式会社  
生産本部技術特販部  
〒833-0656  
福岡県筑後市久富一三四三  
TEL 〇九四二一五二二六  
FAX 〇九四二一五二二〇三

(有)瀬戸活魚センター  
代表取締役社長 藤木 治夫  
〒720-0203  
広島県福山市田尻町四二八九番地  
TEL 〇八四一九五六一三四七三  
FAX 〇八四一九五六一三四七四

菱和コンクリート株式会社  
代表取締役社長 落合 幸雄  
〒112-0002  
東京都文京区小石川四二〇一  
TEL 〇三六四一一一五八四五  
FAX 〇三六四一一一五八四六

焼肉食堂  
げんこつや  
※ランチタイム 525円  
店主 石坂 幸央  
〒238-0232  
横須賀市若名二〇一三  
TEL 〇四六八五七一五二九  
■定休日：毎週火曜、第一・第三水曜

土木・港湾・浚渫工事  
石材採取販売・測量調査  
株式会社 鈴木組  
代表取締役 脇山 俊  
〒259-0201  
足柄下郡真鶴町真鶴九九五一一  
TEL 〇四六八八八五五五五

有限会社 パル  
代表取締役 菅野 茂樹  
〒238-0243  
三浦市三崎五二四五一七  
TEL 〇四六一八二一五四五〇  
FAX 〇四六一八二一五四五〇

三崎魚市場2F  
TEL 〇四六一八二一五四五〇  
FAX 〇四六一八二一五四五〇



# 朝市・生産者直販所めぐり シリーズ②

## 4月から「鎌倉漁協の朝市」再開

「鎌倉海老」と呼ばれ有名なイセエビなどを生産者価格で販売

鎌倉漁協は、四月から十二月まで、毎月第一日曜日の午前十時から、鎌倉市坂の下と同漁協漁業センターで、「鎌倉漁協の朝市」を開催しています。今年も水温むしーズンを迎え、四月四日から再開します。有名な「鎌倉海老」と呼ばれるイセエビなどを生産者価格の格安値段で販売し、来場者に喜ばれます。漁模様によつて違いますが、例年、春のシーズンはメバル、カサゴ、メジナなどの磯魚、シタビラメ、カワハギ、ウマズラハギ、イセエビ、スマイカなどが販売されています。また、天然のワカメも人気商品です。



消費者が詰め掛ける朝市

この他、活きたサザエ、茹でたタコも喜ばれています。三月十一日に解禁になったばかりのシラス船曳網漁業で、同漁協所属の漁業者が漁獲し、自分で加工した「湘南しらす」の釜揚げ製品なども販売され、毎回、終了時間を待たずに売り切れになるほどの人気です。また、地元の農家が生産した野菜も販売します。

【アクセス】江の島電鉄の長谷駅を下車し、海岸に向かい、国道134号線を江の島の方向に向かい、徒歩7～8分で鎌倉漁協漁業センター(鎌倉市坂の下32-13)に到着します。  
【問い合わせ先】鎌倉漁業協同組合 0467-22-3403

### 三浦市 松輪 「ラブ!ラブ!マダイ2009 棒面丸」



優勝者の武さんが今井専務に寄付を贈呈

**イベント参加者が協力 積み立てた四十万円**  
マダイ種苗放流に 役立ててと協会に寄付

三浦市・松輪の棒面丸(鈴木千春社長)は、一月二十三日、「ラブ!ラブ!マダイ2009 棒面丸」の優勝者の表彰式を行い、昨年三月から十二月までの間に一番重いマダイを釣った優勝者の武健一さんの「最高賞」をはじめ多数の賞が用意され、表彰状と記念品が贈られました。

この後、優勝者の武さんが受賞者を代表し、協会の今井利為専務に、四十万円のマダイ協力金を手渡しました。専務は「近年、行政による補助が先細りしています。それだけにこのような皆さんの寄付はありがたく、マダイ資源増大に使用します」と感謝しました。

棒面丸は、五年前から釣具関係企業などの協力で毎年、釣りに一回五百円を出してもらい、毎日、イベントを行っています。毎月、月間賞を贈呈するほか、年間「大賞」があります。

鈴木社長は「参加者は次第に増えていきます。今年も釣りを楽しみ、マダイ種苗の放流に協力しよう」と検討しています。

なお、表彰式が行われる日にもイベントが行われ、釣り上げられた最大のマダイは6.2kgで、このマダイを見た今井専務、「鼻の穴が一つなので、種苗放流した種苗が大きくなるものです」と確認していました。

国際フィッシングショー2010 大勢の来場者で大賑わい

日本釣用品工業会が主催した国際フィッシングショー2010は、二月十二日から十四日まで、横浜みなとみらい・パシフィコ横浜で開催されました。金曜日の十二日か

日大賑わいとなりました。釣用品の展示・説明だけでなく、初めて釣りをやる親子のための「カブタン釣り塾」などのイベントもたくさん行われ、来場者は楽しい一日を過ごしました。日本釣振興会は「稚魚放流募金」を呼び掛け、来場者が次々と寄付していました。

「お魚グルメパーク」では、神奈川県漁連が500円で食べられる各種「マグロ丼」などや神奈川県中型いか釣り漁業協会が販売したイカ飯(450円)が人気でした。

男性のための料理教室

小田原さかな普及の会は二月六日、小田原市保健センターで、「男性のための料理教室」を開きました。市内の二十七人の男性が参加、小田原市食生活改善推進団体(山

小田原市水産海浜課の奥津伸一主査が「安く栄養価の高い魚をたくさん食べてもらおうと教室を開いています」とあいさつした後、山本会長らが、イカの作り方を教え、男性たちはイカ飯作りに取り掛かりました。そして、できた料理を昼食で食べ、美味しさを堪能していました。

500円の参加費で魚料理作りが体験でき、作った料理を昼食で食べられるとあって教室の人気が高く、募集すると直ぐ定員に達するそうです。

### 水産資源の増大を願ひ、(財)神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

**YANMAR**

種苗生産・陸上養殖に、安定したろ過能力、優れた耐久性を誇る

**ヤンマーFRP製自動逆洗砂ろ過機**

逆洗水自己保有型 STシリーズ

- 腐食に強い FRP製
- シンプルな逆洗構造、重力式逆洗方式
- 低廉な維持管理費、据付けも容易

神奈川県横浜市金沢区黒沢町12番1号 (236-0002) TEL. (045) 771-8631 FAX. (045) 773-0970

**ヤンマー船用システム株式会社**

社団法人

**全国豊かな海づくり推進協会**

会長理事 服部 郁弘

〒103-0001  
東京都中央区日本橋小伝馬町九十六  
小伝馬町松村ビル六階  
TEL. 03-5651-1350  
FAX. 03-5651-1350